

グーフォ・かわち 保護者会より

新年によせて

グーフォ・かわち保護者会副会長
小森 節子

新年明けましておめでとうございます。保護者代表として新年のご挨拶を申し上げます。

会長の突然の辞任に依り、会長代行として六か月が過ぎ、新しい年を迎える事が出来ました。これもひとえに保護者会員の皆様、職員の皆様、又地域の皆様方の支えがあつての事と大変心強く、この上ない喜びに深く感謝申し上げます。

又、会の運営につきましてもご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

前会長の施設と共にグループホーム・ケアホーム・ショートステイ等の整備計画に対しての計画準備委員会、又資金積立て等の活動を取り組んで参りましたが、会長辞任のため一応白紙に戻し、前会長の思いを無駄にしない様に新たに施設と共に頑張っていきたいと思っております。

又、継続事業として、三月寒仕込み味噌の作業の手伝い、十月には第五回グーフォ祭模擬店出店、十一月に第三十一回ふるさと産業祭での農産物販売、日用品のバザー等各々の行事にご協力下さいましてありがとうございます。皆様のご協力により多大な収益になり、会の運営に有効活用させて頂きたいと思っております。

本年一月の初行事として十二月に昨年同様に合同新年会が執り行われました。午前中、保護者の皆さんは奉仕作業、利用者さん・職員の皆さんは栃木県防災館での防災体験をされた後、二十四名の保護者の参加を頂き賑やかに楽しく新年会を行いました。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後にグーフォ・かわちの益々の繁栄と皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

保護者会よりお知らせ
4月
第7回
定期総会



利用者トピックス

『わく・わくアートコンクール』inうつのみや2012で以下12名の利用者さんが入賞されました。
【審査員特別賞】 荻原哲也 高塩竜二 森下あゆみ
【わく・わく賞】 郷間久恵 牧田智博 西川めぐみ
吉永詩織 大谷地ケイ子 田中薫
坂本陽子 磯町英司 見目孝昭

第12回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」に栃木県選手団として参加し、見事金メダルを受賞しました。
【フライングディスク アキュラシーディスリート・ファイブ 金メダル】 池田 智



編集後記

蛇年が明けました。昨年は決して悲しい出来事ばかりではなく、2012年の漢字にも選ばれた「金」とあるようにロンドン五輪での日本選手の活躍や金環日食、京大教授のノーベル賞受賞等がありました。そしてグーフォ・かわちの利用者さんも昨年は、利用者トピックスにあるように「金メダル級」の活躍をされました。
グーフォ・かわちが新事業に移行して今年度で2年目になりますが、現場での支援もとまどいながらも利用者さんのための支援を行っていけるように日々模索しています。また、保護者の皆様・地域の方々にご協力を頂きながら今年もグーフォ・かわちの新しいあゆみをあせらず、着実にやっていきたいと思っております。
最後に新年が明けた1月中旬に雪が積もりましたが、蛇年にふさわしい「白蛇」がさっそく幸運を降り注いでくれたのかもしれない。(草柳)

新商品紹介コーナー

* さをり付きTシャツ 2,000円
カラーや素材が新しくなった「さをり付きTシャツ」を販売していく予定です。
* マフラー、雑巾も続々製作中
格段に綺麗になり織りの良さと個性、楽しさが増した「マフラー」を積極的に製作。さをりの残り糸を使った「雑巾」もお楽しみに!

ぐーふおだより



編集・発行
社会福祉法人
河内四つ葉会
グーフォ・かわち
〒329-1105
栃木県宇都宮市
中岡本町3178-3
TEL 028(673)0002
FAX 028(671) 0785

七周年を迎えたグーフォ・かわち

社会福祉法人河内四つ葉会 理事長 濱 雅江

新年おめでとうございます。保護者の皆様はじめ関係者の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。二一一年から早二年、被災地の復興もままならない事への共感を持ち、一日も早い復興をお祈りしております。

当法人も早七周年を迎え、新法への移行も皆様のご協力「障害福祉サービス事業所」多機能型としてスタートする事ができました。今後の「障害者総合支援法」の下では、障害者が地域での「共生社会」を実現するための施策が盛り込まれているとはいえ、利用者を取りまく環境は厳しいと思いますが、グーフォ・かわちとしては出来る事から一歩ずつはじめて、地域での交流事業への参加を進めて参りました。地域に受け入れられ、居宅支援(グループホーム)や相談支援の充実により、身近な使い勝手の良い制度として対応できる事が望まれます。

当法人は利用者さんが能力に応じて、いきいきと喜びを感じられるような支援や環境の整備に心がけていきたいと思っておりますので、深いご理解とご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

「障害者虐待防止法」と「権利擁護」

グーフォ・かわち施設長 峰 寛子

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。さて、昨年十月から「障害者虐待防止法」が施行されました。その目的と内容について次のページに一部載せてあります。

「障害者虐待防止法」は、障害者の権利・利益の擁護に役立てる事にあると述べています。
改めて福祉サービスの権利擁護の必要性が唱えられている一般的な背景を考えると、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等判断能力にハンディのあるとされている人々は、福祉サービス利用者として権利を有しているといっても、実際にはサービスを十分に活用できなかったり、あるいはサービス利用時に身体拘束、放置等の虐待を受けたり、権利侵害や不利益を受けやすい事情がある事。
判断能力があり、一応の知識がある人でも長期施設利用者となつて福祉サービスを受ける時には、サービス提供してくる施設職員等に対して弱い立場に立たされている事。いわゆる他に代替施設や選択肢がないために福祉従事者への遠慮から言いたい事が言いにくい関係にあるという事情があったり、福祉サービスの利用方式が措置制度から、本人の選択による契約方式に転換された事から判断能力が不十分な人々については適切なサービス利用契約を結ぶよう本人の意思をくみ取り、援助する事が必要不可欠になった事等があるかと思われ

ます。
福祉分野を担う私達は、これからの事情を受け止めた上で、これらの人々の立場に立った支援をする事が求められています。支援を行う際に大切な事は、利用者がたとえ障害の重い要介護者であっても、できる限り本人の意思をくみ取り、支援する事。権利擁護とは代理権の行使ではなく、「自己決定の支援」である事だと思えます。
グーフォ・かわちも開設から七周年を迎えます。開所当初確認してきたグーフォ・かわち職員倫理規程を今一度熟知していきたいと思えます。普段何気なく行っている利用者への支援活動の中に利用者への人権侵害的な行為になっていないか、日頃の支援における些細な言動や配慮不足等何気なく行われてしまっている事はないか、利用者の突然の不適応行動や他害行動があった時等如何なる場合でも誰もが冷静に対応できるか等、支援する上での人権的配慮という点を見直して



各 授 産 報 告

24年度は地域とのつながりが広がり、地元の農家さんからの野菜関係の仕事の依頼や地元の保育園の子どもたちとのブルーベリー摘みを通じて、沢山の方々と交流を深める事ができました。利用者さん達は、初めての作業や元気な園児のみなさんに戸惑う事もありましたが、交流が深まるにつれて意欲的に作業に取り組み挨拶できるようになってきました。

お花の作業では今年度も宇都宮市中心街にあるユニオン通り商店街や地元にある白澤病院、しらさぎ荘で年に3回お花のプランター植替え作業を行い、週に1回定期的にお花の手入れを行っています。また、宇都宮市都市整備部緑のまちづくり課からパンジーのポット苗生産を依頼され、今年度は昨年度よりも500ポット多い約1,200ポットを育てています。野菜の作業では、変化の激しい気候への対策として種まきの時期をずらす等工夫をしましたが、多少発育や生育に影響がありました。そこで今年度は収穫後に日持ちする野菜や長い期間収穫できる野菜を中心に生産し、イモガラや切干大根・唐辛子等の乾物野菜にも力を入れました。順調な収穫や出来上がりのおかげで、県庁や宇都宮市役所わくわくショップ等で販売する事ができ、地域の方々からご好評を頂きました。

これからも地域とのつながりを大切にして、利用者さんが意欲的に取り組める作業を増やす工夫を考えながら、きれいで丈夫なお花や新鮮でおいしい野菜をつくっていききたいと思います。



農園

例年のこととはなっていますが、24年もとても忙しい年でした。ですが、忙しいということはそれだけグーフォのパンが多くの方に買って頂いているということで、うれしくもあります。

24年の3月には熱烈なオファーを頂いて「とちえんマルシェ」にてパン販売をさせていただきました。それぞれの降る寒い日でしたが、普段と違うとてもかわいらしい手作りのお店が並ぶおしゃれな空間での販売で、利用者さん以上に職員が楽しんでいました。もちろん、パンも完売です。限定のプチワッフルが大人気でした。また、ラスクも大好評でした。福祉プラザでの販売をさせていただいた途端、毎週35袋の注文を頂き、今まで時間に余裕のあった午後はラスク作りで追われる日々となりました。パン販売の行事でもラスクを出すように売れてしまい、特に、甘いのに後味が爽やかであとを引くレモンラスクがダントツの売り上げでした。グーフォ祭でもパンを目当てに来場して下さる方も多く、祭限定のりんごパンや揚げたてのカレーパンはあっという間に売れてしまいました。

25年は施設外での販売の売り上げの向上を目指して、季節感のあるパンや新作のパンを積極的に出していきたいピーターのお客様にも飽きられないようにして売り上げアップを目指していきたいと思ひます。今年も職員・利用者さんとともに健康に気をつけながら「おいしい・安全・健康」なパンを作り続けていきたいと思います。



パン

24年度は亀田友香さんが入所、福田寧子さんが退所となりました。柏崎職員も新たに加わり、皆で力を合わせて作業に取り組んでいます。

今年度は新たに「大同化工機工業」様より、住宅用太陽光パネルの断熱材へのテープ貼り作業を受注しました。住宅関連の新たな作業を経験させて頂けたことに対し、大変嬉しく思っております。「久和物流」様より受注している、「マルハニチロ」のギフト箱折りは、今年度もお中元とお歳暮の時期に受注しました。作業にも慣れて、急な納品依頼にも対応出来るようになりました。「栄和産業」様や「カンテック」様より受注している「クボタ」関連では、特に部品作業で「タイ洪水」の特需がありました。輸出用の部品が数万個単位で入ったりすることもあり、遠い異国の洪水が「グーフォ」にまで影響が出ていることに驚きでした。「オリジナルプリント」では、アイロンプレス機を導入して以来、大量の注文も短期間で納品出来るようになりました。「河内民児協」様等の公的な団体からも注文を頂けるようになりました。丁寧な作業で信頼関係を築いていき、新たな販路の開拓に結びつけたいと思ひます。

これまで培ってきた各取引業者様との信頼関係の中で、新たなお仕事を頂く機会も増え、年間を通して忙しくなっています。しかし、忙しくても作業支援や対人援助の基本を忘れずに、利用者さんと職員が力を合わせ、一緒に作業を頑張っていきたいと思います。



受注

24年度、織物班は生活介護に移行しました。見た目には変わらない環境の中で最大限の環境整備をし、個性性に焦点を当て、大きく変わったことは一人一人の「心の成長」です。

特に自己表現など今までの取り組みを土台にしながら、音楽やアロマオイル、体操、深呼吸など各々に合ったリラックスマETHODや不安定時の具体的な対処法、自分でできることが身に付くよう取り組みました。するとネガティブな感情や心の葛藤、体調不良などに対する対応力が上がり、深呼吸をしながら作業をしたり、泣かないよと言いつつ頑張ったり、褒めてという訴えや新しいジェスチャーで助けを求める姿が増え、作業や日常生活での意思疎通や情緒の安定、自立性も自然と上がりました。

そうした中で授産活動も大きく変化し、織物の上達には目を見張るものがあります。初めてコンクールにも入選しました。できることや褒められることに喜びを感じる情緒的な豊かさや自分の意思で行うことも増えたようです。心の成長を言いかえると新しい価値観や幸福感、生きがいを感じながら挫けず頑張る心かもしれません。それがそれぞれの人生を支えるものになってほしいと願っています。

保護者や地域ボランティアにも支えられて記念品などの売上も上がり、新製品のTシャツも製作できました。縫物にも挑戦し、袋詰めや急ぎの数え作業では全員が特技と連携力を発揮したことも新しい一面です。今年も一人一人が希望を持てるよう取り組んでいきたいと思います。



織物

グーフォトピックス

「障害者虐待防止法」が施行されました

「障害者虐待防止法」は、虐待が障害者の尊厳に悪い影響を与える事から、障害者の自立や社会参加にとって障害者に対する虐待を防止する事が非常に重要である事を考慮し、必要な措置を定め、障害者虐待の防止擁護者に対する支援等に関する施策の促進により、障害者の権利・利益の擁護に役立てる事を目的に平成二十四年十月一日に施行された法律です。紙面の都合上その一部を載せません。

① 養護者による障害者虐待→身辺の世話や身体介助、金銭管理等を行う家族、同居人等による虐待。
② 障害福祉施設従事者等による虐待→障害福祉施設や障害福祉サービス事業等の業務に従事する職員による虐待。
③ 使用者による障害者虐待→障害者を雇用する事業主や事業の経営担当者による虐待をいいます。

④ 身体的虐待→障害者の身体に外傷を生じさせる(生じるおそれのある)暴行を加える事。又正当な理由なく障害者の身体を拘束する事。
⑤ 性的虐待→障害者に猥褻な行為をする事。又は障害者に猥褻な行為をさせる事。
⑥ 心理的虐待→障害者に対する著しい暴言、著しい拒絶的な対応をする事。又は不当な差別的な言動や著しい心理的外傷を与える事。

⑦ 放棄・放任(ネグレクト)→障害者を衰弱させるような著しい減食をさせる事。又は長時間の放置、他の利用者による①から③に掲げた行為と同様の行為の放置や障害者を擁護すべき職場の義務を著しく怠る事。
⑧ 経済的虐待→障害者の財産を不当に処分する事や障害者から不当に財産上の利益を得る事。

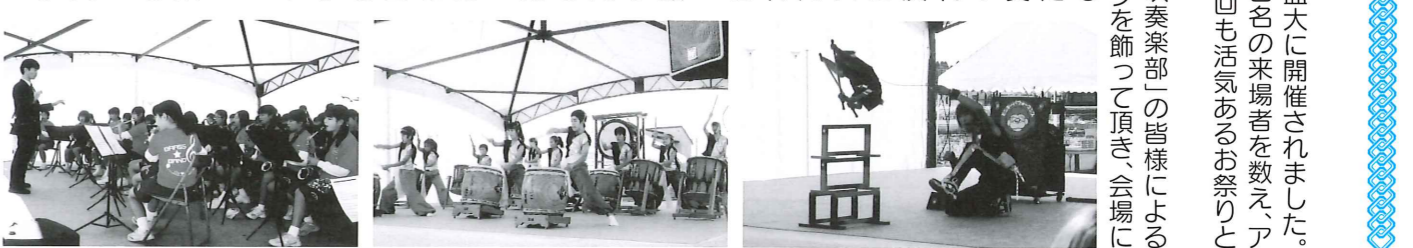
グーフォの行事 アラカルト

第五回グーフォ祭 秋晴れのもと、盛大に開催

十月十三日(土)に第五回グーフォ祭が盛大に開催されました。当日は天気にも恵まれて秋晴れの中、三百名の来場者を数え、アトラクション・模擬店・授産品販売等で今回も活気あるお祭りとなりました。

アトラクションでは地元「古里中学校吹奏楽部」の皆様による心をついにした素敵な演奏でオープニングを飾って頂き、会場にいる全員の心も一つにつながった瞬間でした。また今回で4年連続で出演して頂いた「和太鼓キッズゆりかご」の皆様には、演奏者の思いを太鼓に奏でた勇壮な演奏にグーフォの利用者・来場者の方々は時間も忘れて聞き入っていました。そして今回初出演となる「モンキーエンターテイメント」様には、笑いとお感動のモンキーパフォーマンスをご披露して頂きました。当日はお猿さんのステージを観るだけでなく、実際に触れて記念撮影もあり最後まで楽しんで頂きました。

グーフォの音楽クラブ発表では「星に願いを」ミッキー・マウス・マーチ」を、フラダンスクラブ発表では「パリスエール」の夜の夜を披露し、やや緊張している様子でしたが日頃の練習の成果を出し切った利用者みなさんは達成感でいっぱいでした。模擬店販売では今回も保護者会の皆様にご協力を頂き、安くておいしい手作りの味に来場者の方々から好評を得ました。今回は新メニューとして「からあげ&ポテト」を販売しました。授産品販売でもさをり織り製品、低農薬野菜、焼きたてパン、記念Tシャツ販売を行い、好評を得ました。



初参加でしたので至らない部分もあり、来て下さった保護者の方々のご協力を頂いたことで楽しく競技ができたのではないかと思います。今年もそれぞれの利用者さんに合った競技に楽しく参加できればと思っています。

昨日の十月二十七日(土)、宇都宮市主催のふれあいスポーツ大会に初めて参加しました。当日朝は風が強く寒かったですが、段々とお日様がでてきて午後には汗ばむような陽気になりお天気にも恵まれました。特徴としては、参加したい人が自由に競技に参加できるという柔軟性が大きいと思ひました。あまり待ち時間がないことも良かったと思ひます。また、競技をする利用者さんをより近くで応援でき、スポーツをより身近に感じられるものでした。食後の健康体操も、簡単なリズム運動から皆の知っている「ふよふよのズンドコ節」まであり、身体を動かすことの楽しさを改めて感じました。

宇都宮ふれあいスポーツ大会・初参加!

